

[R. バース] RANDY BASS

1954(昭和 29)年 3 月 13 日生 米国・オクラホマ州 右投左打 内野手

年 次	履 歴 ・ 球 歴
	ロートン高
1977 年	ツインズ
1978 年	ロイヤルズ
1979 年	エクスポズ
1980～82 年	パドレス
1982 年	レンジャーズ
1983～88 年	阪神タイガース
	<p>NPB 実働 6 シーズン 614 試合 2208 打数 743 安打 486 打点 202 本塁打 打率.337</p> <p>首位打者 2 回(1985～1986) 最多安打 2 回(1985～1986) 本塁打王 2 回(1985～1986) 打点王 2 回(1985～1986) 最多勝利打点 1 回(1985) 最高出塁率 2 回(1985～1986) 最優秀選手 1 回(1985) ベストナイン 3 回 三冠王 2 回(1985～1986) シーズン最高打率 .389(1986) 日・セ記録 最多連続打数本塁打 4(1986.5.31～6.1) 日・セ記録 最多連続試合本塁打 7(1986.6.18～6.26) 日・セ記録 最多連続試合打点 13(1986.6.18～7.4) 日・セ記録 オールスター3 回</p> <p>大リーグを経て、1983 年に阪神に入団。1 年目から 35 本塁打を放ち、チームの主力となる。3 年目の 85 年 4 月に 5 試合連続本塁打を放つなど、打率.350、54 本塁打、134 打点で三冠王と MVP に輝く。日本シリーズでも 3 試合連続本塁打の活躍でチーム初の日本シリーズ制覇に貢献し、最優秀選手賞を獲得した。</p> <p>翌 86 年も 7 試合連続本塁打の日本タイ記録樹立など勢いは止まらず、打率.389、47 本塁打、109 打点の成績で、2 年連続三冠王となった。このシーズンの打率.389 は、今もシーズン最高打率となっている。</p>

【参考資料】

- ・ランディ・バース『バースの日記。』 平尾圭吾訳 1990 集英社
- ・日本野球機構『オフィシャル・ベースボール・ガイド 2022』 2022 日本野球機構
- ・「2021 年度 セントラル・リーグ記録集」 セントラル・リーグ
- ・松木謙治郎・奥井成一『大阪タイガース 球団史 1992 年度版』 1992
ベースボール・マガジン社
- ・『阪神タイガース 80 年史 Part1』 2015 ベースボール・マガジン社
- ・『The ESPN Baseball Encyclopedia Fifth Edition』 Sterling Publishing Co. Inc. 2008
- ・<https://npb.jp/bis/players/61063867.html> (2023 年 1 月 5 日閲覧)